

災害から大切な命を守る



活断層（長者ヶ原一芳井）が存在する福山市では、南海トラフ巨大地震の発生を想定し昨年（2016年）から福山市総合防災訓練を始めました。全市民が地震直後の身を守る行動をとる…地域ぐるみで助け合いながら避難する、という内容です。

日吉台学区では、毎年2月第1日曜日を「日吉台学区防災の日」として訓練を行っています。私たちの学区は、5つの町内会で組織され、各地域はそれぞれに素晴らしい所があります。しかし地理的な特色もたくさんあり防災に関しては各地域の特性に応じた対策をとる必要があります。

このガイドブックを土台に、町内会や隣近所そして家族で「災害から、命を守るためにどうすれば良いか」を日頃から話題にされ「備えあれば憂いなし」の気持ちで「できるところからの備え」を心がけていただき、災害が発生しても「住んで良かった日吉台」と思えるよう、災害に強いまちになればと願っております。



災害に備えて

地震が起こると

- ① 建物、橋、道路の損壊 ⇒ガス、水道、電気の供給の中断
- ② 火災の発生と延焼
- ③ 河川、貯水池、ため池、ダムのはげみ及び決壊による水害
- ④ 埋め立て、造成地における液状化現象（浸水）
- ⑤ 津波、高潮
- ⑥ がけ崩れ、山崩れ、地滑り、土石流 ⇒建物の損壊、交通の遮断による孤立

我が家の対策

我が家の安全な場所は？

- ① 耐震構造になっているか？築何年か？
- ② タンスが倒れたり物が落ちてくることはないか？
- ③ 柱などに挟まれた時、助けてくれる人がいるか？



ご近所で助け合いのできる町内会活動

- ④ 三日分の食料、水を確保しておく。
- ⑤ 防災グッズ（簡易トイレも含む）の用意をする。

住んでいる場所の確認

- ① 川や水路のそば ⇒洪水、浸水の恐れは？
- ② 山のそば ⇒がけ崩れの恐れは？
- ③ 池やダムそば ⇒決壊、浸水の恐れは？
- ④ 住宅密集地 ⇒家屋、ブロック塀などの倒壊による負傷および火災の恐れは？

土砂が落ちて来る方向や津波が来る方向は？

どこに避難するか考えよう

地震はいつ起こるか予測できません。地震の時刻を想定し、その時「自分はどこで何をしているか」を想像しましょう。

- ① 自宅
- ② 学校
- ③ 勤め先
- ④ お店
- ⑤ 乗り物で移動中
- ⑥ 病院
- ⑦ その他



◎外出先で災害が発生した場合
連絡の取り方を各家庭で決めておく
(他県の親戚等にも連絡できるように)

◎避難場所及び避難所
一次避難場所⇒各町内会が決めた場所
学区避難場所及び避難所⇒日吉台小学校等

地域では、状況に応じて
◎避難所が開設される

災害に備えて

災害時の行動



日吉台学区で想定される災害

地域 の 特 性

- ① 日吉台学区の形状は、春日、日吉台、蔵王町の一部からなり海拔1.0mの平坦地から50mまでの住宅地として造成された丘陵地である
- ② 学区内には福山衝上断層が存在する
- ③ ため池や農業用の水路がある
- ④ 蔵王12区、日吉台団地、小松の各町内会の中に土砂災害危険注意箇所に指定されている所がある

地震

- ① 南海トラフ巨大地震は、M（マグニチュード）9.1 最大震度6強 揺れ約4分間（福山市危機管理防災課資料による）
- ② 福山衝上断層（蔵王城山露頭）は、木之庄町から奈良津、蔵王町城山を経て笠岡市篠坂に至る全長14kmに及び。
- ③ 長者ヶ原（神辺町）断層と岡山県南西部、芳井断層を加え一連の断層として、平成29年2月政府の地震調査研究推進本部は、M7以上の地震が起きる可能性があり「主要活断層帯」に新たに追加した。



福山衝上断層

津波

南海トラフ巨大地震による津波は、最大波到達4時間30分後 最高津波水位6mになる。（福山市危機管理防災課資料による）

- ① 春日通りの海拔表示

〈参考〉

- ① 広島信用銀行（吉田西）海拔0.8m
- ② 中国銀行（日吉台入口）海拔1.2m
- ③ 両備信用金庫（吉田、東）海拔1.8m

- ② 津波時に指定されている避難場所

〈参考〉

- ① 培遠中学校は、海拔2.5mの為校舎3階へ避難
- ② 日吉台小学校は、海拔31m



① 海拔表示板



② 避難場所表示板

洪水・土砂崩れ



① 小松（泉池）東斜面



② 蔵王町12区造成地のり面

予 想 さ れ る 災 害 の 要 因

災害に備えた日吉台学区の取組

学区民が集う防災訓練



毎年11月第4日曜日
学区防災訓練を実施しています



日吉台団地

- ① 避難行動要支援者を各班で掌握し、災害時の避難行動の活動を具体化する。
- ② 山陽高速道路高架が不通になった時、避難場所の情報発信が必要となる。
- ③ 町内の消火栓を確認する。

各町内会で話し合った内容

吉田

- ① 地域は東西に長く、災害によっては避難場所が異なる。津波の場合は小学校になるが、車での避難ルートは渋滞する恐れもある。とりあえず歩いて逃げる等日頃から家族で避難場所について話し合う必要がある。
- ② 避難行動要支援者の方を、どのように支援していくかが今後の課題である。

小松

- ① 今まで災害が少なく防災意識が薄かった。しかし今後は、自分の身は自分で守る。という気持ちで訓練に臨まなければならない。
- ② 小松地域に水が出る。どこからか調べる必要がある。
- ③ 避難場所としては、位置的に培遠中学校の方が近い。しかし3m以上の津波の時は日吉台小学校に避難することが望ましい。



各町内会での話し合い

蔵王町 12区

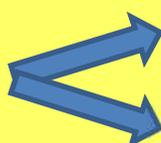
- ① 集会所で食料の備蓄をすることも必要ではないか。
- ② 災害時の連絡手段は、集会所設置の有線放送を活用する。
- ③ 避難行動要支援者は、第1次避難場所（公園）まで誘導し、その後避難場所（小学校）へ誘導する。
- ④ 山陽高速道路高架が不通になった時、高速道路を渡って小学校へ避難することは可能か？
- ⑤ 町内会は、避難場所として「ヘルスガーデンZ」と協定を結んだ。

日吉台

- ① 高層の集合住宅なので常に共助を意識し、災害時には仕切り板をけ破って逃げられるよう洗濯機は室内への設置等、付近に物を置かないようにする。
- ② 玄関と避難梯子を使って避難できるが、山陽高速道路崩壊があればたんぼぼ保育園の方向等、状況次第の避難経路や場所を確認しておく。
- ③ 一人住まいの人を町内会で把握することは難しいがお互いに助け合う。
- ④ 住民同士のアイデアは非難しない、アイデアを求める、お互いにアイデアを活かし防災に強い地域をつくる。



自分の身は自分で守る行動



〈自助〉我が家の対策をする

〈共助〉地域ぐるみで避難できる態勢を整える

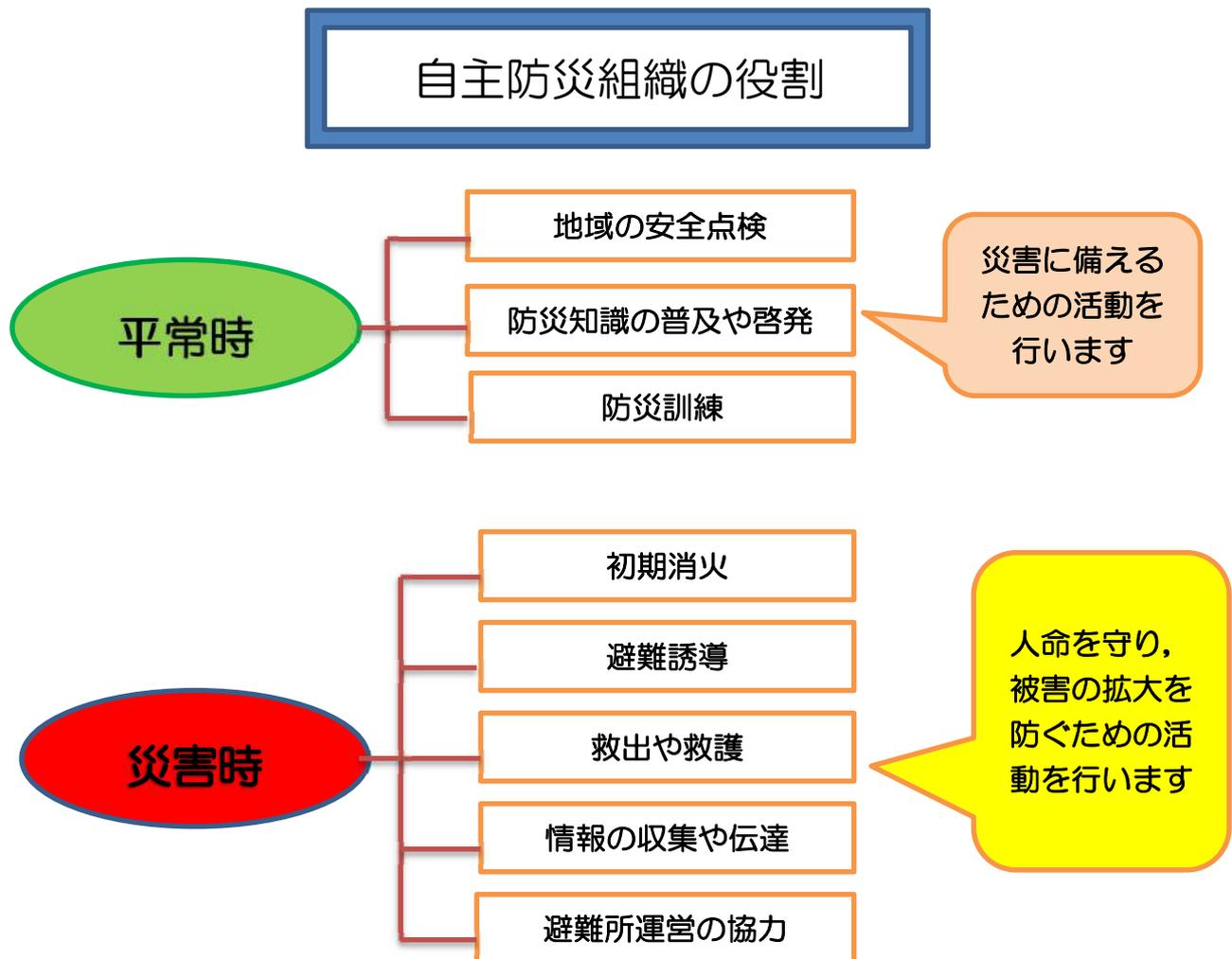
日吉台学区防災対策

日吉台学区自主防災協議会について

日吉台学区の地域の諸事情に照らし、関係当局と厳密な連携のもとに住民の意識高揚に努め、災害発生時に際しては、緊急時に必要な初期措置を講じる等、災害防止及び災害軽減に努めると同時に学区内在住の互助活動組織としての役割に寄与することを目的とし、2003年（平成15年）1月30日から施行される。

日吉台学区・地区防災（避難）計画について

災害が発生した直後は、交通網の寸断、火災の同時多発等により、消防や警察等の防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。私たちの地域では「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、自主防災を組織し地域のみんなで助け合いながら災害に強いまちづくりを進めます。



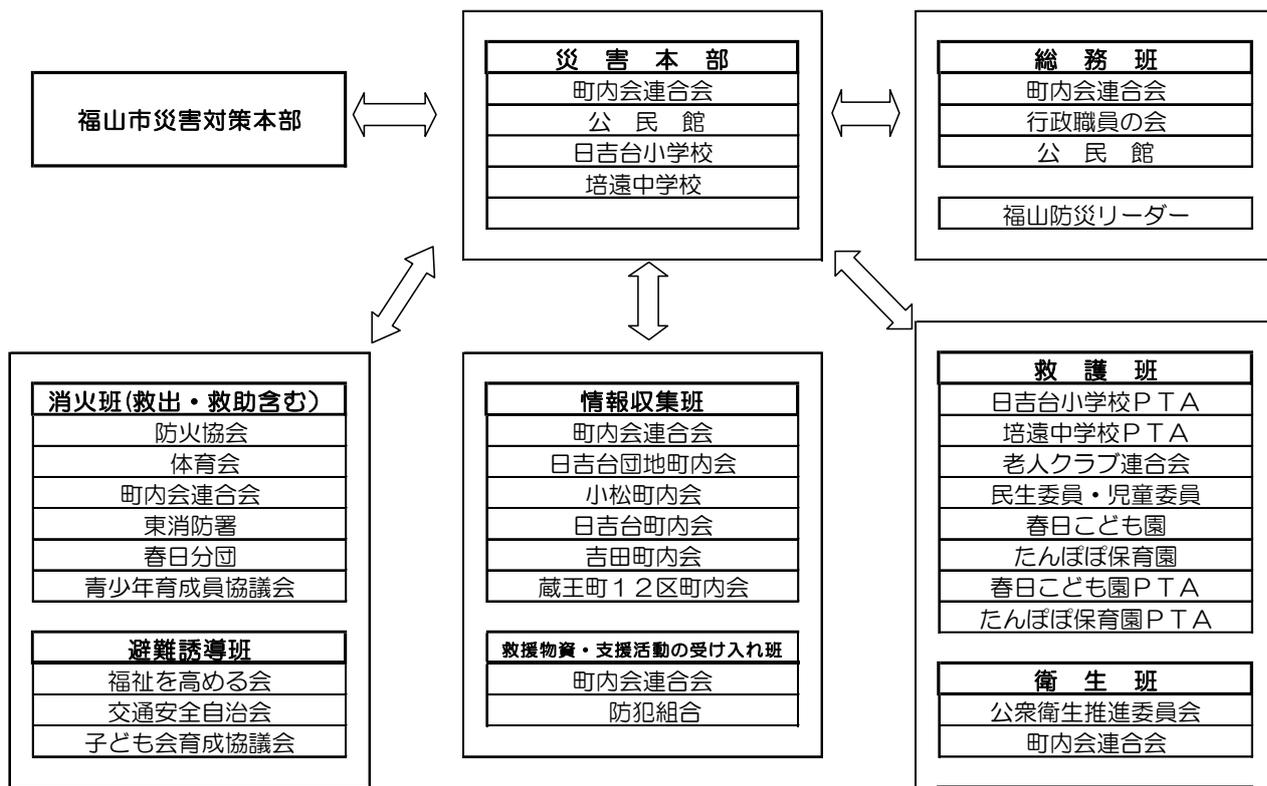
避難行動要支援者（災害時要援護者）等への支援について

災害時に大きな被害を受けやすいのは高齢者や障がい者と子どもたちです。助けを必要とする人を災害から守るため、みんなで協力しながら支援を行っていきます。

日吉台学区の防災対策

日吉台学区自主防災緊急連絡網

緊急連絡体制



活動体制 任務分担表

担当班	分 担 任 務
災 害 本 部	本部の設置, 班への活動指示, 被害状況・避難状況の集計及び把握, 市災害本部・東消防署等との連絡調整, 避難者に必要物品の把握と確保の検討及び指示
総 務	総合企画立案, 執行状況の把握, 各種活動調整, 各種情報の発信
情 報 収 集	町内会ごとの被害状況・避難状況・道路状況の把握
消火(救出・救助含む)	初期消火活動(消火器・水バケツ) 消火活動, ポンプ車被害者の救出
避 難 誘 導	避難場所への誘導, 避難者・通行車両の誘導及び整理
救 護	救出者の搬送, 救護所での負傷者の介護, 救急者の支援
給食・給水	飲料水の確保, 炊き出し準備, 炊き出しと物品の配布
衛 生	トイレの確保と管理, 避難所の衛生管理
救援物資・支援活動の受け入れ	物資の把握と管理, 受け入れと振り分け



防災体制と役割活動任務

避難場所・避難所

◎地域指定の避難場所

地域	避難場所
日吉台団地	日吉台中央公園
小 松	小松集会所
日 吉 台	日吉台中央集会所駐車場
吉 田	東部第四公園 春日町吉田公園
蔵王 12 区	蔵王大谷南公園 ヘルスガーデンZ

◎福山市指定の学区・近隣避難場所及び避難所

施設名	住所	電話番号
日吉台公民館	日吉台1-16-27	084-943-4054
日吉台小学校	日吉台1-15-1	084-943-4856
培遠中学校	春日町3-15-18	084-947-1103

◎避難所

施設名	住所	電話番号
東部市民センター	伊勢丘6-6-1	084-940-2571

◎避難場所…切迫した災害の危機から命を守るため避難する場所

◎避難所 …災害により住宅を失った場合等において一定期間避難生活をする場所

災害時の情報・連絡

緊急時の関係機関連絡先

連絡先	電話番号
防災行政無線テレホンサービス	084-973-9740
市役所	084-921-2111 夜間 921-2130
東部地域振興課	084-940-2571
東消防署	084-941-3868
消防団春日分団	担当者変更有
春日交番	084-943-6568
福山市民病院（災害拠点病院）	084-941-5151
福山市上下水道局	084-928-1500
中国電力株式会社（24時間対応）	0120-511605
福山ガス（24時間対応）	084-931-3111
※NTT 西日本災害時伝言ダイヤル	171

電話使用不可の時に備えて

日吉台学区防災無線を備えています

※親機を中継器として使用する時

親機の表示窓

Sb L 10
中継

型番：DJ-R100D

設置場所…災害時（訓練時も）日吉台小学校南校舎屋上南東が最適

無線機の子機を災害本部と各町内等で使用して連絡し合う

子機の表示窓

L 10
中継

型番：DJ-P22

※親機を使用しない時

全ての表示窓

LO1 50

型番：DJ-P22

（使用する物全部同じにセットする）

※地震等大災害発生時は、安否確認等で問合せなどの電話が急激に増加し、つながり難い状況が数日続きます。NTT 東日本、NTT 西日本では、このような状況を緩和するため災害時に限定して「災害用伝言ダイヤル（171）（電話サービス）を平成 10 年 3 月 31 日から提供しています。

災害用伝言ダイヤル

1 7 1 にダイヤルする

音声ガイダンスによる案内

録音は 1 を押す

再生は 2 を押す

音声ガイダンスによる案内

被災地の方はご自宅の電話番号を入力
被災地域以外の方は、被災地の方の電話番号を市外局番から入力

音声ガイダンスによる案内

1 # を押す

伝言を録音する（30 秒）

伝言が再生される

9 # を押す（終了）

非常時に備えて



避難に関する3つの情報

第1段階

避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間がかかる人（高齢者、障がい者、子どもなど）は早く逃げてください。

第2段階

避難勧告

速やかに避難場所などの安全なところへ逃げてください。

第3段階

避難指示（緊急）

直ちに安全な所へ逃げることを完了してください。

学区内にある公衆電話



日吉台県営住宅 13 号館の東側に設置されている

いざという時の為に、災害用伝言ダイヤルの体験ができます。

災害用伝言ダイヤル体験利用日

- 毎月 1 日及び 15 日 00:00~24:00
- 正月三が日（1 月 1 日 00:00~1 月 3 日 24:00）
- 防災週間（8 月 30 日 9:00~9 月 5 日 17:00）
- 防災とボランティア週間（1 月 15 日 9:00~1 月 21 日 17:00）

日吉台学区の防災対策

防
災
資
機
材
の
保
有

日吉台学区自主防災協議会では、日吉台一丁目の半田池池畔南東に防災倉庫を設置し、小型発電機や投光器等災害に備えた各種の資機材を保管しています。

目的に応じた資機材（抜粋）

目 的	資 機 材
情報収集・伝達	のぼり用ポール、横断幕、表示板、ハンドマイク ハンディメガホン、腕章、のぼり、小型発電機、 投光器、三角コーン、ゲート（通行規制用）、ゲート表示板、トランシーバー
初期消火	ヘルメット、バケツ、消火器
水 防	ジョレン、切スコップ、一輪車、土のう袋、軍手
救出・誘導	担架用竹竿、毛布、組立リヤカー、認識ロープ、 ベスト、赤色合図灯
救 護	救急箱
給食・給水	ひしゃく、モロブタ、ガス炊飯器
訓練・啓発	
そ の 他	ビニールシート



半田池池畔に設置の防災倉庫

資
機
材
を
活
用
し
て
防
災
訓
練



避難行動要支援者の救出



避難誘導で指定避難場所へ集合



情報の収集や伝達

災害発生時に備えて、地域住民が適切な行動がとれるよう市や消防局等とも連携しながらの訓練です。

毎年11月 第4日曜日

福山市総合防災訓練の併せて日吉台学区防災訓練を実施しています



災害から大切な命を守る「お守り」

防災訓練に参加しよう!!

我が家の防災対策

家族で防災について話し合いましょう!!



家の中で一番安全な場所は?

避難経路の確認をしよう!!

災害時の連絡方法と集合場所は?

非常持出品の準備をしよう!!

非常持出品チェックリスト		非常備蓄品チェックリスト	
品名	点検日	品名	点検日
<input type="checkbox"/> 非常食		<input type="checkbox"/> 食品 (缶詰・レトルト食品)	
<input type="checkbox"/> 飲料水		<input type="checkbox"/> 食品 (ドライフーズ・ドライフルーツ等)	
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備の電池)		<input type="checkbox"/> 食品 (調味料・スープ・みそ汁等)	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備の電池・電球)		<input type="checkbox"/> 食品 (チョコレート・あめ等)	
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん		<input type="checkbox"/> 水 (1人あたり1日3リットル、3日分)	
<input type="checkbox"/> 救急医薬品		<input type="checkbox"/> 燃料 (卓上コンロ、予備のガスボンベ)	
<input type="checkbox"/> 常備薬		<input type="checkbox"/> 燃料 (固形燃料等)	
<input type="checkbox"/> 貴重品 (預貯金通帳・印かん等)		<input type="checkbox"/> 毛布・タオルケット・寝袋等	
<input type="checkbox"/> 現金		<input type="checkbox"/> 洗面用具	
<input type="checkbox"/> 健康保険証のコピー		<input type="checkbox"/> なべ・やかん	
<input type="checkbox"/> 住民票のコピー		<input type="checkbox"/> 簡易食器 (わりばし・紙皿・紙コップ等)	
<input type="checkbox"/> ろうそく		<input type="checkbox"/> ラップ・アルミホイルなど	
<input type="checkbox"/> ライター (マッチ)		<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・トイレトペーパー等	
<input type="checkbox"/> ナイフ・缶ざり・栓抜き		<input type="checkbox"/> マスク・使い捨てカイロ	
<input type="checkbox"/> ティッシュ		<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
<input type="checkbox"/> タオル		<input type="checkbox"/> 予備のメガネ・補聴器等	
<input type="checkbox"/> ビニール袋		<input type="checkbox"/> 工具類 (ロープ・パール・スコップ等)	
<input type="checkbox"/> 上着・下着			
<input type="checkbox"/> 軍手			

こんな用意もしておきましょう!!

乳幼児のいる家庭		妊婦のいる家庭		要介護者などのいる家庭	
品名	点検日	品名	点検日	品名	点検日
<input type="checkbox"/> 粉ミルク		<input type="checkbox"/> 脱脂綿		<input type="checkbox"/> かかりつけ医療機関のメモ	
<input type="checkbox"/> ほ乳びん		<input type="checkbox"/> さらし		<input type="checkbox"/> 常備薬	
<input type="checkbox"/> 離乳食		<input type="checkbox"/> T字帯		<input type="checkbox"/> 障がい者手帳	
<input type="checkbox"/> スプーン		<input type="checkbox"/> 洗浄綿		<input type="checkbox"/> 各々必要な装具	
<input type="checkbox"/> おむつ		<input type="checkbox"/> 新生児用品			
<input type="checkbox"/> 洗浄綿		<input type="checkbox"/> ビニール風呂敷			
<input type="checkbox"/> おんぶひも		<input type="checkbox"/> 母子健康手帳			
<input type="checkbox"/> バスタオル					
<input type="checkbox"/> ベビー毛布					
<input type="checkbox"/> ガーゼ					



大災害の発生により、水道やガス等の使用ができなくなり、道路の破損も生じた場合、防災機関による救援活動がすぐにではできない状況になります。少なくとも災害後3日間は、自給自足できるように準備をしておきましょう。想定される大きな災害が起きても、全員が助かるように、そして減災に向けて日頃から準備をしておきましょう。